

# 資料コーナー

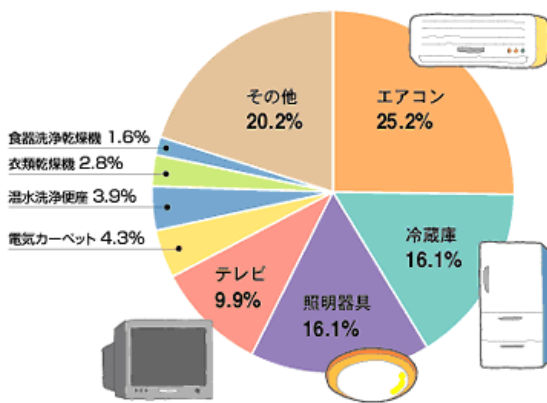
## 省エネカタログ 家庭用 2005年 冬

出典：(財)省エネルギーセンター省エネカタログ 2005年冬豆知識

(<http://www.eccj.or.jp/catalog/2005w-h/memo/index.html>) より抜粋

家庭で一番電力を消費するものは？

わたしたちの家庭では、電気の約 67%は、エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの 4 つに使われています。消費電力量の多い機器にきちんと対応することが、省エネ効果を高めるポイントになります。買いかえるときには、エネルギー消費効率の良い機器を選ぶこと。そして、冷暖房の適正温度を守ったり、冷蔵庫のドアの開け閉めの回数を減らしたり、少しずつ無駄を省くだけで、毎月の電気代も変わってきます。



知らないうちに、電気を使っている。待機時消費電力を知って、省エネ効果アップへ。

多くの家電製品は、リモコンで電源を切っただけでは、電力を消費しています。また、タイマーやメモリー、内蔵時計などの機能を維持する製品が増え、それらの製品は主電源をオフにしても電力を消費しています。これが待機時

消費電力です。家庭における一世帯あたりの待機時消費電力量は平均で 437kWh/年(電気料金では約 10,000 円/年)であり、家庭の一世帯あたりの全消費電力量(4,487kWh/年)の 9.7%に相当します。

気をつければ、待機時消費電力量は削減できる。

待機時消費電力が大きい製品でも、使い方を工夫すれば消費電力量を削減できます。

### STEP 1

使っているときだけ主電源スイッチをオンにし、使わないときは主電源スイッチをオフにすると待機時消費電力量を約 25%削減できます。

### STEP 2

使っていないときに機器のプラグをコンセントから抜いても機能的に問題がない機器について、使わないときにプラグを抜くようにすると待機時消費電力量を約 43%削減できます。



南方 英明(千葉工業大学)  
(平成 18 年 10 月 10 日受付)

